

月刊

ボラナビ

2010年

9 No.145
月号

無料

ご自由にお持ち帰りください

NPO なる人

NPO 法人葬送を考える市民の会代表理事 澤 知里さん

OB・OG コラム

泣いた! 笑った! 中国の人々と...



今月の表紙イラスト

プロとして活躍で旭川市在住の
ササしんさんにご提供いただきました。

〈ササしんの描く絵〉

<http://sasashin.web.fc2.com/>

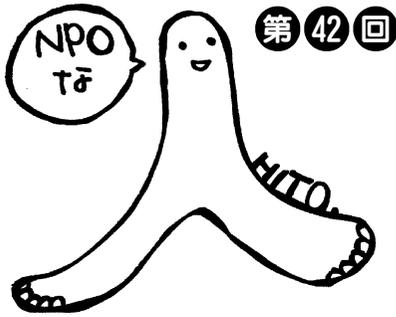
表紙のイラスト

募集中

北海道の NPO 法人認証数

1,593 法人

(2010年6月末現在)



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....



著 者 NPO 法人葬送を考える市民の会代表理事
澤 知里 (さわ ちさと)

1956 年旭川生まれ。2004 年より現職。自分の年齢を間違っ覚えてるのが得意。32 歳を 3 年間、37 歳を 2 年間やり、今も「52 歳」と言って 2 年目になることに気がついた…。
会のブログ <http://blog.canpan.info/soso/>

初めは葬送に関する疑問から

1995 年、母方の祖父が亡くなりました。葬儀は一人娘の母が喪主となり私と妹が手助けしたのですが、亡くなった直後から、寺や親戚、葬儀社への連絡に始まり、仮通夜、通夜、告別式と続いた 4 日間は、とても慌しく、遺族となった私たちは冷静さを失い、正直に言えばきちんと悲しむ時間のないままあっけなく終わってしまいました。家族を亡くしたことの悲しみに加え、長女として母を支え葬儀を行わなくてはならないというプレッシャー、慣れないことを行う不安、徹夜続きの疲れも加わり、まともな精神状態ではありませんでした。葬儀が終わりしばらくして、今後、もし家族が亡くなった時、あるいは私が死んだ場合、私や家族は何をどうしたらよいのか、きちんと対応できるのかと考え込んでしまいました。あまりにもわからないことが多く、判断に迷うことがたくさんあると感じたからです。

そんな時、知人から「今行われている葬儀に関しては分からないことが多いから勉強会をしよう、という声があるんだけど、仲間に入らない？」と誘われたのです。葬送に関して疑問を感じていたのは私だけではありませんでした。そして 1997 年 3 月に 10 人程集まってできたのが「葬送を考える市民の会」でした。

葬儀社の関係者や宗教者を講師に学習していくうちに、「必ずしなくてはいけないこと」はごくわずかで、ほとんどが自由にできることや、宗教に準じて行われている、と思っていたことが実はそうではなく、マニュアル本や迷信などに振り回されている部分が多いことが分ってきました。正しい情報を得て納得のいく送られ方・送り方を考えよう、葬儀社など他人まかせにするのではなく遺族がきちんと関わるのが大切であり、本人の意思も大切にしたい、との思いで、会としての活動が始まりました。

生と死について真剣に考え、自分や家族の旅立ちのあり方について関心のある高齢者などが会員となり、2000 年には NPO 法人の認証を受け、活動領域を拡げてきました。現在は 400 人近い会員に支えられています。



今年 4 月に開催したイベントの様子

最期を迎える手助けをしたい

会には毎日のように、北海道各地から相談や問い合わせの電話があります。行政機関から教えられたというケースも最近が増えていきます。この数年増加しているのは、お金がないので葬式ができない、お墓が買えないなど「経済的に困窮している方」からの相談と、病気になったら、葬儀や墓は、相続は、といった、将来の不安に関する「一人暮らしの方」からの相談です。費用に関しては、できるだけ負担が軽くなるような形を提案しています。一人暮らしで身内がない、いても頼めないという方には司法書士・弁護士・公証人・税理士などの専門家と連携をとり、会で行っている電話での安否確認「元気ですコール」への参加、成年後見制度の活用、公正証書遺言の作成などを勧め、最期まで本人の意思を尊重した形をとれるようにサポートしています。

また、介護、高齢者住宅、終末期医療、遺言、相続に関する税金、成年後見制度、宗教、墓、散骨などのさまざまな講座や見学会、亡くなった時に着る衣装や骨壺を手作りする講習会などを行なっています。そして、自分らしい最期を迎えるためには自分の思いを書きのこすことが重要と考え、『旅立ちノート』（エンディングノート）を作成しました。

さらに交流の場として、参加者がリラックスして話のできる「おしゃべりサロン」を月に2回設けています。その時の参加者の関心事が話題になるので、葬儀や墓の話はもちろん、医療、臓器提供や献体、宗教との関わり、死後の世界の考え方など話題は多岐にわたり、時には身内を亡くされた方が体験談を語ったり、不治の病を宣告された方がご自身の話をされることもあります。「死という言葉自体、縁起でもないと思う人もいるし、なかなか話づらい内容だけど、この会では普通に話せることがありがたい。しかも、ここの会はとても明るいからいいね」と、会に来るのを楽しみにしている方も大勢いて、運営する私たちの励みになっています。

以前、「葬送を考える市民の会が行っていることは、死の準備教育なのですね」と言われました。「死の準備教育」とは上智大学名誉教授のアルフォンス・テーケン神父が提唱していることで、「死を見つめることで、生を最後までどう大切に生き抜くか、自分の生き方を問う」ためのものです。すべての人に必要で、子どもたちにも成長段階に応じて「限りある生」について教え、命の尊さを知ってもらうことが大切だと言われています。15の目標がありますが、その中には「自分自身の死を準備する」「死にまつわるタブーを取り除く」「葬儀の役割について理解を深める」「宗教におけるさまざまな死の解釈を探る」「時間の貴重さを発見する」といった項目があります。本当に私たちの活動そのものだと感じました。

生まれる時に「助産師」がいるように、最期を迎える時にも「手助け」が必要と私たちは考えています。会でさまざまな情報を提供しサポートを行うことで安心してもらえるよう、今後とも活動を続けていきたいと思えます。

会員募集

年会費 3,000 円。会員には年 4 回会報をお送りし、葬送に関する情報をお伝えしています。

■■ NPO 法人葬送を考える市民の会 ■■■■

E メール shimin@soso-npo.com TEL・FAX: 011-261-6698
〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 9 丁目 5-1 札幌 19 L ビル 202 号
ホームページ <http://soso-npo.com>
月～金曜日（祝日は休み） 10:00～17:00



ボラナビカフェに参加しませんか？

ボラナビカフェは誰でも参加できるおしゃべりの場です。みんなが順に話し、いろいろな思いや話題を共有していきます。これまで以上に多くの方に参加していただくため、2011年3月までは毎月5回程度開催します。

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	⑪
12	13	14	15	16	17	⑮
19	20	21	⑳	23	24	㉓
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	⑩
10	11	12	13	14	15	㉑
17	18	⑲	20	㉒	22	㉖
24/31	25	26	27	28	29	㉙

- ◎ 場所／ボラナビ事務所（札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル7階）参加費は300円です。月寒あんばん本舗ほんま様から提供していただくお菓子を食べながら、みんなで話しましょう。
- ◇ 場所／cafe 亜麻人（あまんと）（札幌市北区麻生町6丁目14-6高橋ビル2階）参加費無料。飲食物は出ませんが、250円で飲み物を注文できます。会場ビル裏手に有料駐車場（100円/時）あり。託児が必要な方も参加できます（保育士2人）。託児無料。お子様のお名前、性別、生年月、障がいの有無を合わせてお知らせください。お子様のオムツや飲み物などは各自で用意ください。
- ▽ 場所／ボラナビ事務所（札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル7階）参加費無料。みんなで話しましょう。
- 場所／向日葵（ひまわり）食堂（札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル6階）参加費無料。飲食物は出ませんが、コーヒー200円を注文できます。
※ボラナビと食堂は「札幌駅」からすぐ、亜麻人は地下鉄南北線「麻生駅」とJR「新琴似駅」からすぐ。

時間 / 10:00～11:30

申込締切 / 各開催日の一週間前。定員10人（最少催行人数4人）

お問合せ・お申込み / NPO 法人ボラナビ倶楽部 Eメール volunavi@npohokkaido.jp

TEL:011-242-2042 FAX:011-242-2043

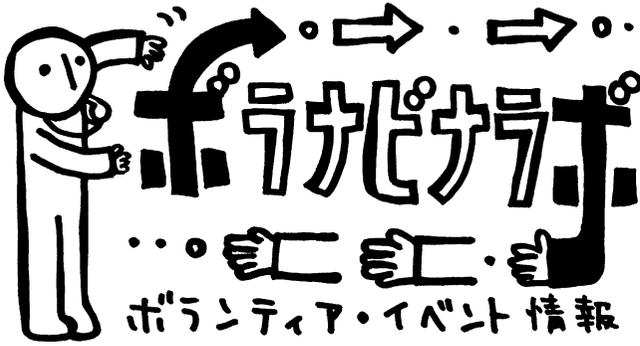
スケジュールやこれまでのカフェの様子は、ホームページにも掲載しています。（「ボラナビカフェ」で検索）

《カフェレポ》

7月17日（土）のカフェは、手作りの小物やお花で飾られたアットホームな「Cafe 亜麻人（あまんと）」で、参加者5人で開催しました。女手一つで5人の子どもを育てたという方が、「末期の患者さんに対する介護を仕事でしていたが、辛くて続けられなかった。求職中だが、45歳以上の求人が少ない」と話されていました。障がいのある子のお母さんは、「自分の子に障がいがあると知ったときはショックだった。でも、機能回復を目指すリハビリがあることを知り、多くのボランティアさんに助けられながら実行したところ、子どもは歩けるようになった」とおっしゃっていました。他の方々からも、ボランティアや食生活など様々な話が出てきて、みんなで深くうなずき、聞きあいながら、思いを共有しました。（村上 智恵子）



独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

- ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>
- ※インターネット環境が無い方は、FAXや郵便でお送りください。

締切は毎月25日。次回は9月25日締切で11月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

随時

海外戦没者のご遺骨回収活動支援のお願い

NPO 法人空援隊は、フィリピンで旧日本兵の遺骨回収活動を行っています。戦争から64年経った今も、海外戦没者240万人のうち、約115万人の方が日本の地を踏むことができていません。フィリピンには、一国としては旧日本兵のご遺骨が最も多く残されており、リゾート観光地のひとつ、セブ島の空港から車でわずか10分の民家の庭先や国道の近く、そして洞窟などでは、30センチ掘るだけで骨が出てくる状況で、現在、回収可能と思われるご遺骨は約3万～4万骨です。現地調査、回収、鑑定、焼骨などに、ボランティアの力が必要です。また、それらの活動や、フィリピンでご遺骨を一時保管する場所の確保などに費用がかかります。情報を持っている高齢者の方たちが数年後にはいなくなってしまうかも知れないことを考え、私たちは「一刻も早く、一人でも多く」という思いで活動しております。ぜひ、日本人海外戦没者のご遺骨回収活動への参加や寄付にご協力ください。活動の一部への参加も可能です。

- 日時／ご遺骨の回収は、フィリピンの治安が悪くなる12月を除き、年間を通して実施。1回の活動日数は5～10日間。
- 寄付先／三菱UFJ銀行京都支店 口座6816051 特定非営利活動法人空援隊 (トクビ) クウエンタイ
- その他／現地活動に参加される方には、旅費として18～30万円を会に納付していただきます。成田空港集合で、そこまでは各自負担でいらしてください。現地では、一切お金はかかりません。
- お問い合わせ／NPO 法人空援隊北海道支部〈担当：千葉〉 TEL：0143-43-2332 FAX：0143-43-7180
Eメール hideya@ko-den.com ホームページ <http://www.kuuentai.jp/>

財団法人秋山記念生命科学振興財団社会貢献活動助成事業

性同一性障害札幌講演会

講師：真木 柁鷹氏 (性と人権ネットワーク ESTO 代表)

COMらっどでは、今まで、性別適合手術 (性転換手術) をしたトランスセクシャル (身体とところの性の不一致により手術を望む方) をお招きして、性同一性障害に関する一般市民の理解促進に努めて参りました。今回は、トランスジェンダー (性の不一致を感じているが、手術までは望まない方) である真木柁鷹 (まさきまさたか) 氏をお招きして、トランスジェンダーや東北・関東で活動している「性と人権ネットワーク ESTO」について講演していただきます。

日 時：2010年10月2日 (土) 受付 13:00～ 講演…13:30～15:30

場 所：かでの2.7 北海道道立道民活動センター 720 研修室

参加費：500円

主 催：COMらっど 協 賛：性と人権ネットワーク ESTO

後 援：札幌市・札幌市教育委員会・北海道・北海道教育委員会・北海道新聞社・札幌医科大学

【お問い合わせ】COMらっど Eメール：comrade.e@hotmail.co.jp HP：<http://happytown.orahoo.com/comrade/> 工藤：090-5958-3491 (平日は午後6時以降)

随時 おでかけボランティア募集

障がいのある方の通学や通勤に同伴していただけますか。「おでかけボランティア」は、ワンコイン・ワンマイル・ワンハートのボランティアです。(1)利用者(障がい者)は、1回の送迎につき500円をボランティアに支払います(ワンコイン)。(2)同じ区に住み、1.6km以内で活動できる利用者をボランティアの方に紹介しますので、無理なく続けられます(ワンマイル)。(3)資格や経験、年齢は問いません。「誰かの役に立ちたい」という気持ちがあれば参加できます(ワンハート)。「週に1回、(障がいのある方が通う)学校から、歩いて一緒に帰ってきてほしい」、「車で学校まで送ってほしい」、「誰も迎えに行けなくなってしまったときをお願いしたい」など、利用者の希望はさまざまで、所要時間は30分～1時間程度です。あなたができることを、できる範囲でお手伝いしてください。定期的にボランティア説明会を開催しておりますので、まずはお問い合わせください!

●お問合せ/NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター〈担当:杵淵(きねぶち)〉

Eメール aas49970@par.odn.ne.jp

TEL:011-748-6220 FAX:011-748-6221

札幌市東区北20条東1丁目5-1 大西ビル1階

ホームページ <http://www2.odn.ne.jp/~aas49970/>

9/3
締

「インドの女の子たちの現実」上映会の会場設営ボランティア募集

財団法人日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)は、インドの子どもたちが撮影した短編ドキュメンタリー映像のうち、女の子に関する作品を上映します。インドの女の子たちが置かれた厳しい現実と、作品づくりによってエンパワーメントされていく様子を実感していただける内容です。この上映会の会場設営ボランティアを先着順に5人募集します。机やイスのセッティング、パネルの運搬、民具及び写真の展示作業などをしていただけますか。関心のある方からのご連絡をお待ちしております。

●日時/9月5日(日)9:30~12:00

●場所/かでの2・7 710会議室(札幌市中央区北2条西7丁目)

●その他/ボランティアには、交通費として一律500円をお支払いします。ボランティアとしてではなく、上映会への来場も大歓迎です。

「Because I am a Girl~インドの女の子たちの現実~」女の子の教育、ダウリー(結婚持参金)、性的搾取などに関する短編5作品を9月5日(日)13:00~15:30、かでの2・7の710会議室にて上映。定員96人。観賞料無料。お申し込みはプラン・ジャパン TEL:0120-400-422まで。

●会場設営ボランティアのお問合せ/プラン札幌の会〈担当:江上〉

Eメール banglaphotogallery@ybb.ne.jp TEL:011-891-3018

Japan Press Network
47 CLUB
北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト「よんななくらぶ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。

よんななくらぶ **検索**

登録無料 欲しい情報がお手元に
ボラナビ・アラート
活動したい地域・分野・時間帯を
選んで登録。ご希望にあった最新の
ボランティア・イベント情報をお届け!
携帯からも簡単登録→

<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vsearch/index.php?controller=user>

「白石生活相談室なかにわ」では、調理補助のボランティアを募集しています！私たちの施設では、主に通所されている障がいのある方と共に、喫茶店「パティオ」の運営やお菓子の箱折り作業などを行っています。ボランティアにお願いしたいのは、喫茶店で提供する昼食を通所者が調理する際の補助です。調理スタッフが一緒におりますので、心配はいりません。福祉に関心のある方や、将来福祉の道に進みたいと考えている学生さん大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。

- 日時／毎週金曜日 11：00～14：00
- 場所／白石生活相談室なかにわ（札幌市白石区中央1条6丁目9-19）
- 交通機関／地下鉄東西線「白石駅」より徒歩7分
- その他／交通費とボランティア保険料を実費負担いたします（ただし、遠方の方は相談させてください）。
- お問合せ／白石生活相談室なかにわ〈担当：吉村〉
Eメール nakaniwa@bz01.plala.or.jp
TEL：011-860-7311 FAX：011-860-7322
ホームページ <http://www2.odn.ne.jp/troika/nakaniwa.html>

介護老人保健施設「北野の四季」で夏祭りを開催します。お祭り当日に、入所者様のお話し相手と移動時の補助、出店の販売補助のお手伝いをしてくださるボランティアを募集しております。

- 日時／9月5日(日) 11：30～14：30（集合は11：00を予定）
- 場所／北野の四季（札幌市清田区北野1条2丁目11-50）
- 交通機関／地下鉄東西線「南郷18丁目駅」より中央バス「北野1条2丁目」下車徒歩2分。または地下鉄東豊線「福住駅」より中央バス「札幌国際大学入口」下車徒歩2分
- 募集人数／10人程度（定員になり次第、募集終了とさせていただきます）。
- その他／昼食を提供します。また、謝礼として500円程度の図書カードをお渡しします。
- お問合せ／介護老人保健施設北野の四季〈担当：杉林・加賀〉
Eメール kitanonosiki@dance.ocn.ne.jp
TEL：011-881-2255 FAX：011-881-1050
ホームページ <http://ssj.cool.ne.jp/kitanonosiki/>

ハンド・フットケア初心者用基礎講座教室

癒しと
ぬくもりの
ケア

オイルを使って、温めた手で利用者の手足をさすり、なでてあげる優しい手技です。

※社会福祉施設に勤務する看護師を対象に講義経験有。

平成21年度北海道社会福祉協議会主催。

日時／毎月第2・第4土曜日 13:00～15:00（2時間/回 5回）

会場／札幌市中央区南2条西6丁目 狸小路プラザハウス2階

受講料／35,000円（教材・修了証書代含む）

NPO 法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングケアスクール札幌 代表：男沢(おざわ)千恵子
TEL：011-824-3848 FAX：011-824-3844 ホームページ <http://www.healing-care.jp>

平日

お弁当や惣菜づくり、配達ボランティア募集中!

「OVENT GARDEN (おべんとガーデン)」は、精神障がい者を対象とした就労継続支援B型事業所です。お弁当惣菜の製造販売とイトイン・スペースの運営をし、一日平均 80 食の弁当や惣菜を関係各所にお届けしています。調理や配達、接客、軽作業を通して、生活支援と就労支援を行い、また、就職につながる調理師免許取得対策プログラムを実施しています。福祉事業所に理解があり、調理全般、軽作業、配達の協力をしてくださる方で、タバコを吸わないボランティアさんを募集しています。面談をしますので、まずはお問い合わせください。

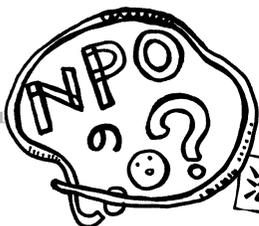
- 日時／月～金曜日 8:00～14:00 (週3回以上)
- 場所／札幌市中央区南1条西5丁目17-2 プレジデント松井ビル
- 交通機関／地下鉄「大通駅」1番出口昭和ビルより徒歩1分。市電「大通4丁目」より徒歩3分。
- その他／交通費補助あり (上限400円)、まかないの昼食付。要普通自動車免許。
- お問合せ／OVENT GARDEN おべんとガーデン <担当: 関・安達>
Eメール office@leafleaf.org
TEL: 011-222-0622
ホームページ <http://leafleaf.blogdekoken.jp/>

随時

デイサービスの見守りボランティア

円山溪仁会デイサービスでは、利用者さんとお話ししたり、昼食時のお茶の用意や、コップ洗いなどをする見守りボランティアさんを募集しています。排泄や食事の介助はありません。週に1回以上、定期的に活動していただける方をお願いします。年齢は問いません。関心のある方はお気軽にお電話ください。

- 日時／月～金曜日 9:30～15:30。ご都合のよい曜日に。
- 場所／札幌市中央区大通西26丁目3番16号
- 交通機関／地下鉄東西線「円山公園駅」<2番出口>より徒歩2分。または、JRバス・中央バス「第一鳥居前」下車徒歩5分。
- その他／交通費として一律400円支給。
- お問合せ／社会福祉法人円山溪仁会デイサービス <担当: 河野・加藤・武内>
TEL: 011-632-5500



～NPOのちょっとした疑問にお答えします。～

Q

現在、NPO法人を運営しております。今後、活動が軌道に乗った場合には、当該NPOをそのまま株式会社や社団法人などに組織変更したいと考えていますが、可能でしょうか。

A

- NPO法人をそのまま株式会社や社団法人に組織変更することはできません。また、NPO法人が、株式会社や社団法人と合併することも認められていません。よって、結論として、組織変更はできません。どうしても株式会社や社団法人に移行したい場合には、別途新規に法人を設立し、新法人に権利・義務関係を譲渡する手続(営業譲渡)を行い、今のNPO法人を解散する、という手段が必要です。ただし、この場合には、役所への登録、財産の名義変更、従業員の移転等、全て個別に手続きが必要となります。
- 下矢洋貴 弁護士(佐々木総合法律事務所 TEL: 011-261-8455)

どんぐりアカデミーは、小学1～6年生を対象にした「考える力」を鍛えるための学習教室です。プログラムは、①算数、②国語、③どんぐりタイム(学校では教わらないオリジナルのテーマ)で、「塾には行きたくないけど、楽しい勉強ならしてみたい」という小学生の学習を、北大、教育大、北星学園大、藤女子大の学生で構成する教育支援ボランティアサークル「どんぐり」がサポートしています。将来教師になりたい、ボランティア活動をしたい、子どもが好き、という方は、私たちと一緒に活動してみませんか。見学可能なので、ぜひ一度お越しください。



- 日時／水曜日 17:00～19:00。その他、週に一度、エルプラザ(札幌市北区北8条西3丁目。札幌駅より地下直結)で会議。
- 場所／札幌市西区琴似2条7-2-5 メシアニカビル4階(元「くすみ書房」のあったビル)
- 交通機関／地下鉄東西線「琴似駅」より徒歩5分
- その他／教室や会議に参加するための交通費を支給します。
- お問合せ／どんぐりアカデミー〈担当：野内〉
Eメール misagogo@jmail.plala.or.jp
携帯：080-1978-3310
ホームページ <http://donguriacademy.blog37.fc2.com/>



平成22年度
NGO相談員

北海道のNPO・NGOの 相談業務承ります！

(財)北海道国際交流センター(HIF)は道南を中心にホームステイ、国際交流や地球環境、NPO・NGOサポートなどの活動をしている団体です。2010年度の外務省NGO相談員です。北海道全域の相談業務に対応するため、HIF札幌デスクを開設しています。よりきめ細かい相談や出張サービス(いずれも無料)を承ります。

詳しくは、
札幌デスク NPO法人ボラナビ倶楽部 または
(財)北海道国際交流センター(HIF)
までお問い合わせください。
TEL: 0138-22-0770 FAX: 0138-22-0660
Eメール info@hif.or.jp
ホームページ <http://www.hif.or.jp>



平日

簡単なパソコン作業のボランティア大募集

「NPO 法人みつばち」は、主に精神障がいのある方々を対象とした、就労継続支援 A 型の事業所を開設しました。簡単な文書作成の補助とパソコン操作などを手伝ってくださるボランティアを募集します。

- 日時／月～金曜日 10：00～17：00
- 場所／札幌市南区澄川 4 条 3 丁目 4-20 シャトー澄川 2 階
- お問合せ／NPO 法人みつばち アイティーワークスさっぽろ <担当：川村>
TEL：011-595-8979 FAX：011-595-8961



～NPO のちよつとした疑問にお答えします。～

Q NPO 法人でも一般会計とは別に、特別会計を設けて経理することは可能ですか？

- **A** NPO 法上の「特定非営利活動に係る事業（本来事業）」の他に、「その他の事業」を行っている場合には、前者を「一般会計」、後者を「特別会計」と位置づけて、それぞれの会計ごとに、財産目録、貸借対照表及び収支計算書を作成します。また、例えば、将来の施設建設資金のように、一般会計の財源と明確に区別して管理・運用すべき資金や財産があれば、「XX 積立金会計」のように任意に区分経理してもいいでしょう。ただし、あまり多くの特別会計を設けると経理事務や会計報告が複雑になりますので、事前に総会や理事会等で承認を得ておく必要があるでしょう。
- 瀧谷和隆（瀧谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com）

登録ヘルパー募集中

興味のある方 ぜひお気軽にご応募ください♪

急募

■資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上
夜間は年齢不問
運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談)

■勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可

■給 与／時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当あり)

■勤務場所／南区とその周辺

■応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、右記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ
ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804
札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840

ボラナビ倶楽部の会員になりませんか？

社会を変えたい人

一緒にボラナビを育ててみたい人

市民活動やボランティアに興味がある人

ボラナビに情報・広告を載せたい人

ボラナビ大好きな人

- 年額／個人5千円、法人1万円。
- 特典／月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる(月1回)。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。
- お申込み・詳細／ホームページで検索

※会員期間は、2010年4月～2011年3月です。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042

9/14~30

- ▶長野ヒデ子「ひらがなにつき」原画展とミニトーク
- ▶10:00~21:00 (最終日は17:00まで)
- ▶長野さんのミニトークは26日(日)15:00~16:00と27日(月)16:00~16:30
- ▶紀伊國屋書店2階イベントスペースおよび1階インナーガーデン
(札幌市北区北5西5)

高齢になってから字を学んだ吉田一子さんの識字にまつわるエピソードを描いた絵本「ひらがなにつき」(長野ヒデ子作)の原画と、札幌で識字学級を開いている「遠友塾」の資料を展示します。また、絵本作家、長野さんのお話をお聞きます。無料。

☎識字絵本の会〈乾(いぬい)〉

Eメール sinantao@tspirit.tokai-u.jp

TEL・FAX:011-644-7820 携帯:090-8370-0883

9/18(土)

- ▶「男が介護するということ」—男性介護者と支援者のネットワークを広げよう—
- ▶13:30~16:00
- ▶PORTO ポルト(札幌市中央区南1西22-1-1)

男性介護者100万人の時代です。北海道でも多くの男性が主たる担い手として介護の日々を送っています。そんな男性たちの喜怒哀楽をとりまぜた実態から、これからの介護のあり方を講演とリレートークと一緒に考えましょう。講師は津止正敏(つどめ まさとし)氏(立命館大学教授、男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長)。男性介護者と支援者に限らず、関心をお持ちの多くの方々の参加をお待ちしております。参加費無料。なお、16:30~19:00に、会場近くの居酒屋で交流会を行ないます。会費4,000円。希望者は9月15日(水)までに事務局にご連絡ください。

☎「北海道男性介護者と支援者のつどい」〈小番(こつがい)・多田〉

Eメール jugem2010@live.jp TEL:011-827-1383 FAX:011-825-3168 携帯:090-3456-3333

ホームページ <http://dansei-kaigo.at.webry.info/>

9/18(土)

- ▶シングルマザー応援セミナー&相談交流会 in 札幌
- ▶10:00~12:00
- ▶かでの2・7 5階510会議室(札幌市中央区北2西7)

シングルマザーの仕事や子ども、養育費などについて話を聞いたり、日頃思っていることを何でも語り合えるセミナーと相談交流会を「NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ」が開催します。参加資格は、シングルマザー、あるいはシングルマザーになるかもしれない方で、お互いの秘密が守れる女性のみ。セミナーのテーマは「シングルマザーの仕事・子ども・暮らし」で、講師は大矢さよ子(当会理事、社会保険労務士、1級FP技能士、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント)です。参加無料。託児は、0歳~未就学児を先着定員6人受付可能で、申込みは9月11日(土)まで(飲み物・おやつは各自ご用意ください)。申し込み受付はボラナビ倶楽部が代行します。

☎Eメール volunavi@npohokkaido.jp TEL:011-242-2042 FAX:011-242-2043(件名として「シングルマザーセミナー参加申込み」と書き、お名前・連絡先・保育希望の有無・子どもの生年月月をお書きください)

月2回(不定期)

- ▶ヤングアダルト遺族会
- ▶札幌医科大学保健医療学部1階 緩和医療学講座教室
(札幌市中央区南1西16)

ヤングアダルト遺族会は、両親・恋人・兄弟姉妹・配偶者を亡くした大学生~30代の人たちが集まって、自分自身の死別体験を他の仲間と語り合う遺族会を開催しています。死別で体験したことや今の生活で困っていること、自分についてなどを自由に語り合える場所です。同じような体験をした同世代の仲間と時間を過ごすことが、ちょっとした励ましや慰めになることがあります。なかなか友達には話せない、「死別」というテーマの話し相手を探していたという方はどうぞご参加ください。

☎ヤングアダルト遺族会〈岩本〉

Eメール kanwa@sapmed.ac.jp TEL:011-633-8010 FAX:011-633-8011

ブログ <http://kanwaspm.d.exblog.jp/>

9/19(日)・20(月・祝)

- ▶知る・気づく・感じる Vol.Ⅷ～対話ってなんだろう～
- ▶19日 10:00～18:00、20日 10:00～16:00
- ▶Work&Recovery コンポステラ
(札幌市北区北16西4-2-35 吉江ビル2階)

札幌ファシリテーション研究会とコミュニネット楽創が、体験学習セミナーを開催します。テーマは「対話」。お互いの思いを言葉に表し、伝えたり耳を傾けたりすることで、感じたことや気づいたことを日常の生活に結びつけ、人と人との関わりや、自分自身が人と関わる時の癖などを考えます。講師は名古屋で活躍する小山田奈央さん(クレセントワークス主宰)。参加費一般6,000円、学生5,000円(いずれも2日間)。先着30人。

問札幌ファシリテーション研究会 Eメール taikenn2006@yahoo.co.jp 携帯:080-7028-8029(受付18:00～21:00)
FAX:011-728-7280(札幌エルプラザ2階市民活動サポートセンター内 レターケース135番「札幌ファシリテーション研究会」まで)※FAXは、返信するまでに時間がかかる場合があります。

9/26(日)

- ▶第12回生命尊重を考える講演会
- ▶13:30～15:30
- ▶藤女子大学(札幌市北区北16西2)

経済的に困窮している妊婦さんや、思いがけない妊娠に戸惑う女性から無料で相談を受けて産むことを支援するための基金があり、これまでに全国で200人の赤ちゃんの命が救われました。この基金の運営組織「NPO法人円プリオ基金センター」(本部東京)を支援する「円プリオ北海道」が、ノートルダム清心女子学園理事長の渡辺和子氏を講師に迎えて講演会を開催します。一般1,000円。学生は当日500円ですが、事前申し込みの場合は無料。4プラ・道新ブレイガイドでも前売販売中。無料託児あり。

問円プリオ北海道<中西> Eメール caritas-ksc@sirius.ocn.ne.jp TEL:011-261-2188 FAX:011-252-5488

9/26(日)

- ▶家族で楽しもう、学ぼう、きのご観察会
- ▶9:00～13:00
- ▶旭山記念公園 噴水の横(札幌市中央区界川4)

旭山記念公園と旭山都市環境林の自然を楽しみながら森を歩き、きのご観察や採取をして学ぶ集いです。採ったきのこは鑑定会で解説します。ラクヨウ、ポリポリなどたくさんの種類のきのこが入った美味しいきのこ汁を用意しますので、マイ箸、マイお椀を持参してください。参加費大人500円、小学生～高校生300円(会員、幼児は無料)。虫対策のため、明るい色の長袖、長ズボンで参加してください。事前申し込み不要。

問NPO法人藻岩山きのご観察会<中田>

Eメール moiwayama@kansatukai.net TEL・FAX:011-631-8344

ホームページ <http://moiwayama-kinoko.kansatukai.net>

10/9(土)他

- ▶障がい児と保護者対象の音楽療育ワークショップ
- ▶10/9(土)、10/23(土)、11/6(土)、11/27(土)、12/11(土)
- ▶来年2/13(日)にはあそびの広場開催。いずれも10:00～11:30
- ▶札幌国際大学総合情報館1階プラザ(札幌市清田区清田4-1-4-1) 駐車場あり

障がいのあるお子さんと保護者のための「音楽療育ワークショップ」は、歌や表現あそび、楽器あそびなどで楽しく体を動かすことにより感情表現を豊かにし、子どもも大人も学生ボランティアも、心とからだを開放・解放し、参加者みんなで笑顔を共有する活動です。動きやすい服装で、上履き持参でおいでください。参加無料。初参加時に保護者と付添いの方を含む全員に、各自負担でスポーツ安全保険600円(申し込みから最終活動日まで有効)に加入していただきます。申し込みにはお子さんの氏名、年齢、所属園・校、保護者名、住所、電話・FAX番号、メールアドレス(PC・携帯)が必要です。当日受付も可。

問北海道音楽療育センター<林>

Eメール horc@ed.siu.ac.jp TEL・FAX:011-881-2763

大学のホームページ「特色GP」から申し込みできます。<http://www.siu.ac.jp>

OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第41回

泣いた! 笑った! 中国の人々と…

宮腰卓秀(みやこし たかよし)さん (39歳) 2007年6月～2009年3月、中華人民共和国にて日本語教育に携わる。現在は月形町の高等学校で教鞭をとる。



クラスのみならず (筆者前列左)

私は、大学時代に書道を専攻したことがきっかけで中国に興味を持つようになり、1996～98年には中国のハルビン師範大学に留学した。その時お世話になった日本語教師ご夫妻の影響で、参加可能な年齢制限間近に、思い切って青年海外協力隊員に応募した。結果、第一希望通り、中国の内モンゴル自治区オルドス市にあるオルドス市第三中学校に赴任が決まった(日本の学校に教員として籍を残しながら協力隊に参加できる現職参加制度を利用)。そこで、現地の2代目協力隊員として、日本語を選択している1～3年生に、主に会話と作文を週に5時間教えたが、それ以外の活動について、主に2つのことを紹介したい。

1つ目は、協力隊員による日本語問題集の作成である。赴任してすぐに同僚の先生と参加した日本語教師研修会がきっかけで、日本語問題集不足が現場の先生方共通の悩みであることが分かった。そこで私が、協力隊員に問題集作成への協力を呼びかけたところ、隊次を越えた9人の仲間が集まり、問題集作成委員会を立ち上げた。そして1年間、各自、普段の隊員活動と並行して担当部分の問題作成を行った。毎月締切日を設け、メール等で情報共有を図り、編集会議も2回実施した。ついに、初中用(中学生用)約130ページ、高中用(高校生用)約410ページの日本語問題集が完成した。私の帰国後、教科書会社のホームページからダウンロードできることが決まり、まもなく運用される。夢が現実となる。

2つ目は、ウランダワ砂漠の植林活動に3回参加したことである。これは、1991年より3年間、同じオルドス市内の民族学校で日本語教師をされた坂本毅さん(※)が当時の教え子たちと共に始めたもので、今は毎年春と秋に現地の人たちと一緒に行われている。砂漠といっても、少し掘っただけで水分を含んだ砂が出てくるし、至る所に植物が自生していて、足で踏むと陰に隠れていた昆虫が顔を出す。ここで大きく育った植物を枝打ち(下枝や枯れ枝を切り落とす作業)し、落とした枝を有効活用することで植生を無視せずに植林を行なった。私はこの活動を通じて中国人・日本人を問わず様々な人と知り合い、一生の財産となった。

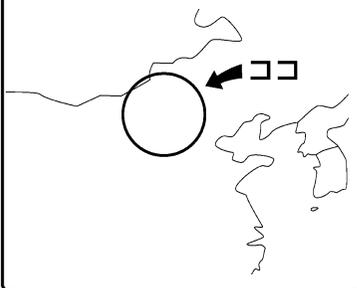
※坂本さんについては、ホームページ「オルドスの風」をご覧ください。



「黄砂の発生源」とも言われるウランダワ砂漠だが、30年前は大草原だった

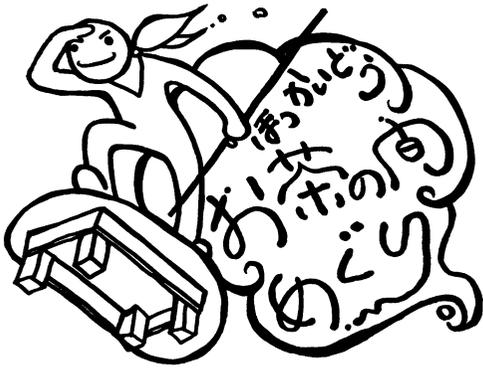
豆知識

北京オリンピックのため、市内観光名所の化粧直しが大々的に行われ、故宮や天壇公園などがきれいになった。



▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター(JICA 札幌)
〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL: 011-866-8393 Eメール sictpp@jica.go.jp



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

 このコーナーは、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

Vol.36

いきいきサロン「さんぼ路」

場 所	札幌市白石区栄町19丁目12-28 ハウス栄どおり
日 時	第2土曜日 11:00~14:00
参加費	無料。昼食が出る時は300円。
参加対象	どなたでも
連絡先	TEL・FAX: 011-853-4958 (佐々木)



お茶の間について

高齢者下宿を経営している佐々木が、入居者と地域の人々が交流して家に閉じこもらず元気に生活してほしいという思いで、2003年に始めました。60~80代、間もなく90歳になる方もいらっしゃいます。暖かい時期には、散歩がてら近くの公園などに桜やライラック、あやめを見に行ったり、梅林公園に出かけたりして、外の空気を胸いっぱい吸うこともあります。時々は皆で、ファミリーレストランや回転寿司、そば屋に行き、ワイワイガヤガヤおしゃべりしながら外食を楽しみます。昔をなつかしむ話や戦時中の話をよくします。寒い時期や天気の良い日は、室内でオセロゲームやパランスゲーム、おしゃべりをして過ごしています。



メッセージ

月に1日、気心の知れた仲間と集まって、おしゃべりしたり歌ったりしながら、共に元気に楽しく過ごしませんか。散歩の途中に、ちょっと参加したくなるような「さんぼ路」を目指しています。参加者はだいたい5~7人で、多くても10人くらいまでと考えています。みんなからは「集まると、すぐに打ち解けるので、ひと月があつという間に過ぎた気がする。サロンが待ち遠しい」(72歳男性)、「皆で出かけるのが楽しい」(76歳女性)といった声をいただいています。新しいお友達ができるのを楽しみにしています。ご連絡をお待ちしております。

 **バナビカフェ**を
毎月開催しています。 

9月 11日(土)、18日(土)、22日(水)、
25日(土)
10月 9日(土)、16日(土)、19日(火)、
21日(木)、23日(土)、30日(土)

全て10:00~11:30
参加費無料の日や、無料の託児付きの日があります。
詳細は3ページをご覧ください。

7月の

事務局の1ヶ月を
振り返りつつご紹介



- 2(金) ● 認定 NPO 法人イーパーツ (東京) から、申請していた中古パソコン 2 台をいただいた。ありがとうございました。
- 7(水) ● 校正にボラボラさん (ボラナビ倶楽部のボランティア) が来る。一度に大勢で校正するのは久しぶり。賑やかで楽しい。
- 8(木) ● JICA 札幌より、「OBOG コラム」の執筆者を紹介していただいた。青年海外協力隊員の新しい体験談を読めるのが楽しみ。
- 10(土) ● ボラナビカフェを開催。参加者が偶然、男

- 性ばかりで驚いた。活発な話し合いとなった。
- 13(火) ● ボラボラに登録してくださった方と面談。取材経験があると聞き、頼もしく感じた。● イラストの得意なボラボラさんが、ボラナビが某パネル展で掲示するポスターを作って、持ってきてくれた。
- 15(木) ● ボラナビ 8 月号の印刷直前、原稿に曜日間違いがあることを業者さんに指摘していただき、助かった。いつも丁寧にチェックをしてくださり、ありがとうございます。● ボラナビから掲載を打診していた団体から、電話をいただいた。
- 17(土) ● 初めて「cafe 亜麻人」でボラナビカフェを開催。詳細 3 ページ。
- 21(水) ● ボラナビ 8 月号が納品された。ボラボラさんと一緒に、梱包と封入作業を行う。地味な作業と思われがちだが、話が弾む楽しい時間。
- 23(金) ● ボラナビ 8 月号約 3 千部を市役所に配達した。雨模様だったが、どんな天気でも決行する。
- 24(土) ● ボラナビカフェを開催。申込者数が最少催行人数を超えていたので、「開催決定」とホームページで告知していたこともあり、申し込みをしていない方も 2 人いらした。嬉しい驚き。

月刊ボラナビの配置先 (今月は札幌市西区をご紹介します) ボラナビは毎月 25 日に約 1,000ヶ所に配置しています。

●札幌市 ■西区/JR 琴似駅/サッポロ珈琲館本店/佐藤水産二十四軒店/新鮮居酒屋たじま屋インターネット店/びっくりドンキー(琴似店・西野店)/牛角宮の沢店/中和石油(FW 琴似・発寒・西町)/北海道エネルギー(三角山・宮の沢・琴似八軒・西野・東発寒)/札幌信用金庫(琴似支店・発寒支店)/北海道銀行(琴似支店・西野支店・西野二股出張所・八軒支店・宮の沢支店)/北海道労働金庫札幌西支店/北洋銀行琴似中央支店/宮の沢若者活動センター/山の手図書館/西区社会福祉協議会/西区民センター/西区役所/地区センター(西野・はっさむ)/まちづくりセンター(八軒・琴似二十四軒・西町・発寒北・西野・山の手・発寒・八軒中央)/宮の沢屋内競技場/西区体育館・温水プール/西区地域振興課/札幌日産自動車(西店・発寒店)/Honda Cars 札幌(宮の森店・八軒東店・宮の沢店・西町店)/タイヤ書房発寒店/文教堂(琴似駅前店・西野 3 条店)/ジャスコ札幌発寒店/コープさっぽろ(琴似 24 軒店・宮の沢店)/札幌東光ストア(福井店・平和店)/マックスバリュ(琴似店・八軒・琴似 3 条店)/スーパーJOY 西町店/フレッティ琴似店/ラルズマート山の手店/北雄ラッキー(西野 1 号店・西野 2 号店・山の手店・発寒店)/ラルズ発寒店/ダイエー琴似店/美芸学園こども com. 専門学校

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

*配置にご協力いただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様の協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

▼自身の勉強のために参加してくださった学生さん
もいた。**私たちが協力できる側**
だというが嬉しい。

▼札幌から**遠い場所での活動**だったにも関わらず応募者が 2、3 人いた。

▼ボラナビは、公共施設やスーパーなど**生活に密着した場所に配置**されているので、広く知っていただくのに効果があった。

▼ボラナビを見て 3 人の方が**寄付**してくれた。

▼より具体的にイメージしてもらうため、**写真**を載せればよかった。

ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (サシス順)

城宝和茂様	株式会社ニトリ様	北海道文化放送様
進藤芳彦様	匿名希望者様	森田雄二様
生活クラブ生活協同組合様	北雄ラッキー株式会社様	遊佐新聞販売株式会社様
株式会社土屋ホーム様	北海道銀行様	株式会社ラルズ様
寺岡ファシリティーズ株式会社様	北海道新聞社様	池田千枝子様
富永マサエ様	有限会社北海道新聞中田専売所様	株式会社 HBA 様
中道リース株式会社様		

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000円以上の寄付金や、この欄への10,500円の寄付広告をいただいた際は、誌面でお名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとほっと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金算入が可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL:011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各1号につき)

種類	サイズ(天地×左右)	料金
Sサイズ(企業・行政)	50mm×76mm	31,500円
Mサイズ(企業・行政)	50mm×157mm	63,000円
Mサイズ(NPO・NGO)	50mm×157mm	5,250円
Lサイズ(NPO・NGO)	100mm×157mm	10,500円
無料掲載(NPO・NGO)	サイズの希望は受けられません。また、誌面の都合により掲載できなくなる場合があります。	無料
裏表紙	50mm×157mm	105,000円
バナー広告	60ピクセル×120ピクセル	52,500円 (1,750円/日)

- ※「製作済みの版下」または「テキスト(あれば写真やイラストも)」をご提出ください。企業・行政の広告はデザイン性のあるものにしていただきたいと思いますので、版下の提出が難しい場合は、ボラナビ倶楽部が適切なデザインを別料金で制作いたします。(M=6,300円、S=4,200円、バナー広告=6,300円)
- ※ひと月以上バナー広告を掲載された個人・企業名は協賛一覧でご紹介させていただきます。
- ※ボラナビ倶楽部のホームページ(ボラナビ・サーチ)への情報掲載は無料です。ただし、企業・行政でお申し込みの際は、協賛・寄付をご検討ください。
- みなさまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。(2010年7月改定)

■定期購読のご案内

- 各号1部(6ヶ月間)……………1,575円
複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。
- お申し込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。定期購読のお申し込みをされる場合は、寄付または寄付広告をご検討ください。詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部への お振り込みは

- ゆうちょ銀行(郵便振替) 02700-1-5671
- 北洋銀行北七条支店 (普)3662056
- 北海道銀行札幌駅北口支店 (普)0816050
- 北海道労働金庫道庁支店 (普)3153060
- 札幌信用金庫本店 (普)4255071
- 口座名:ボラナビ倶楽部
- ※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、手数料はかかりません。
- クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QRコード対応携帯のみ

ボラナビ・コールサービススタート!

市民団体などに代わってボラナビ倶楽部が窓口となるサービスを今年度から試験的に始めています。利用される方はボランティア募集情報をボラナビなどに掲載する際、連絡先としてボラナビ倶楽部の電話、FAX、メールアドレスを告知していただくことが可能です。「専門の事務局員を置くことができない」、「ボラナビに掲載したいけど公開できる連絡先が無い」という市民団体の声を受けて企画しました。ぜひご利用ください。

- 代理業務内容・平日9:00~15:00にかかってきた電話の対応と、それ以外の時間に受け付けた留守電・FAX・メールなどのご連絡内容を転送します。※複雑な問い合わせが想定されるケースなどはお引き受けできないことがあります。
- 料金・・・2,100円(税込/前払)。月刊ボラナビ発行日25日~翌月末日の約ひと月間。
- お問合せ・・・NPO法人ボラナビ倶楽部/Eメール volunavi@npohokkaido.jp/TEL 011-242-2042/FAX 011-242-2043